



フルタイムの共働きでも里親はできるんです。障がいのあ  
る子どもだって引き受けられ  
るんです。"里親は覚悟が必要だ"  
って言う人もいますが、なんとかなる  
もんなんです。

Fさん夫妻



シングルで里親になりました。2歳から我が家に来て  
くれた女の子は高校生になり  
ました。いろんなことで  
悩みましたが、それも今  
では良い思い出です。

Hさん



ショートステイなど短期  
で関わるお子さんが養育  
となった際には、長期養  
育をお願いしたいと思っ  
ています。学区が変わら  
ずに済みますから。

Aさん夫妻



養子縁組は、親も子もハッピー  
な制度です。親子の絆は本当の  
親子以上かもしれません。子  
もとの生活を望む方には、ひと  
つの選択肢としてぜひご検討い  
ただきたいです。

Tさん夫妻



ショートステイの受託をす  
ると実子も遊び友達ができ  
るので喜んでます。定期  
的に来てくれるので従兄弟  
が遊びに来てくれるよ  
うな感覚です。

Kさん夫妻



一緒に出かけると孫と間  
違えられることが多  
くなり、自分たちの  
年齢を感じながら子  
どもたちとの時間を  
過ごしています。

Yさん夫妻



## 一緒に里親しませんか？



滋賀県里親  
連合会 HP



里親支援  
センター HP

## 里親登録後の体験談

### 我が家のちょっとした楽しみ

#### 匿名里親

夫婦ともに子どもが好きなので、養育里親や一時保護預かりが出来たらいいなと思い、里親登録をしました。現在は里親委託はありませんが、草津市のショートステイ事業で、休日や自分に時間があるタイミングで子どもたちを受け入れています。ホームステイ里親のような形で、何度か同じ子どもを預かるとお互いにどんどん慣れていくので、こんなことしたら喜ぶかな？や、ここ一緒に行きたいな～などの想いが出てきます。



びわ湖畔で持参したお弁当を食べ、貝がら探しをして遊んだ帰り道に「また一緒に貝がら探そうな。」と言ってくれたり、ケーキ作りをした際には「次来たらクッキー作りたい。」と要望してくれたり、子どもたちが次を楽しみにしてくれることは、とても嬉しく感じます。お菓子作り、カードゲーム、公園遊び、犬を連れてドッグラン、バーベキュー、ハイキング、ピクニックなど、当たり前前の日常をいろんな子どもたちと一緒に過ごすことで、わたしたち自身がいつも以上の楽しみを得ています。

また、0歳の実子にとっても、お兄ちゃんお姉ちゃんが遊びに来て、バウンサーを揺らしてくれたり、ガラガラであやしてくれたり、親子だけでは経験できない貴重な時間になっています。たくさん子どもと触れ合いながら成長できることは、きっと実子にとっても良い刺激であり、豊かな経験になるはずです。

昨年1年間で、妊娠中、産後間もなく、そして0歳児の育児中など、忙しいタイミングやしんど

いと感じるタイミングは、正直にお断りをしていました。支援する側が疲れてしまっただけでは意味がないので、現状を正直に共有しながら負担のない範囲で受託しています。

このように、余裕がある時に無理せず出来ることを、わたしたち夫婦も楽しみながらしていることが、一人でも多くの子どもの笑顔に繋がればいいなと思っています。

### ホームステイ里親として感じていること

#### 守山市 小西奈央子

私たち夫婦は子どもに恵まれず、二人で生活するのも楽しいかなと思い夫婦二人での生活を送っていました。そんな中、職場の先輩から「里親したらいいやん！色んな形があるよ！」と教えてもらいました。その先輩も養育里親として子どもを預かっておられます。

私は仕事で障害のある方の相談員として生活相談に乗っています。色んな方の生活に触れる中で最近は生きづらさを抱える若い女性の相談も増えてきました。成育歴をたどると多くの方が幼少期に虐待を受けていたり、複雑な家庭環境で生活していたことがわかりました。そのような現実を知り、自分に何が出来るのかを考えずにはいられませんでした。

「里親も良いかもしれない…」と思い、夫に相談して一緒に研修を受け、無事に里親認定を受けることができました。長期養育ができればよかったのですが、子育て経験がないこともあって長期に預かることに自信がなく、ホームステイ里親を選びました。

認定を受けたその日に児童相談所の方から「ホームステイ里親を希望している子がいるんです」と声をかけていただきました。その後、里親支援センターの方とも相談しながら施設でAちゃんとの顔合わせ、その後は外出を進めていき、今は月1回の外泊を実施しています。

Aちゃんは最初のお泊りをした後、学校の先生に「Aもお家帰った！」とうれしそうに報告していたと聞きました。施設のお友達がお家に帰る姿を見ていたのだと思います。小さい頃から施設での生活だったのでお母さん、お父さんの存在自体



も理解できないかもしれませんが、Aちゃんが“お家”というものを覚える体験ができることはうれしいことだと感じています。一緒に過ごしていると初めての体験がたくさんあります。この前は、味噌汁の素になる味噌を初めて見たと言っていました。「味噌汁はこれを溶かして作るんだよ」と伝える中で、このような家庭での過ごしをたくさん体験してもらうことが大切だと思いました。施設では体験できないことをたくさん経験してもらうことでAちゃんの持っている力がもっと伸びたらいいなと思います。

ホームステイ里親を始めてから先輩里親さんとの交流も増え、私たちにとってもAちゃんにとっても新たな出会いがたくさんあります。人とのつながりを通して、私たちもAちゃんも大きく成長できるといいなと思います。

そして、里親の輪がもっと広がり、里親をしている人もしていない人も皆が子ども達が安心して過ごせる未来を創造・想像し、ともに歩いていくことができればいいなと思っています。

## 最強の里親の目指し方

### 匿名里親

養育里親として0歳と2歳から育ててきた子ども達が、この1月揃って成人のお祝いに参加しました。「我が家の子ども」として一緒に暮らしてきた歳月は長いようで短く、短いようで長い日々でした。実子と0歳からの里子の育児も大きな違いがありましたが、0歳からの育児と2歳からの育児は全く別モノで、驚きと戸惑いの連続、何度も壁にぶち当たりました。目を離さなくても瞬時にいなくなったり、想定外のことが起きると固まって動かなくなったり、要求が通らないと泣き叫んで暴れたりする子どもが不可解で、宇宙人を

相手にしているようで、途方に暮れたり自信を無くすことが度々ありました。

ちょうどお声がかかった専門里親の研修を受講しました。研修で「愛着障害」「解離」「アンガーマネージメント」等を学んでいく中で、こどもの状態や行動の意味が分かっていき、少しずつ霧が晴れていくように感じました。こどもの中で起きていることを知ることは大きな力になりました。もう一つ養育に欠かせなかったのが、他の里親子との交流です。養育での悩みごとへの対処法は、たいてい先輩の里親さんが経験として持っていました。他の里子たちとの交流で、血のつながらない家族と暮らすことは何も特別なことではなく普通のこととしてこども達は育ちました。登録前から里親会に入会し、行事や、全国研修に毎年参加していたので日本中に里親仲間がいることは大きな力となっています。

途中実親の引き取り希望があったり、未曾有の災害があったり、家出をしたり病気で死にかけたりいろんなことがありましたが、どちらも里子として育ったことは自分たちの弱みではなく「強み」としてとらえているようです。里親子を取り巻く環境はこの20年で大きく変わり、給付型の奨学金や自立生活援助事業のおかげで里子達は希望の大学に進学し、学費や生活の心配をすることなく人生を謳歌しています。

『最強の里親』は、完璧な里親ではなく、不完全なひとりの人間として常にこどもに寄り添いつつ、困ったときには然るべき先（ここを間違えずに！）に協力やアドバイスを求めながら、自分の人生を楽しむ姿を見せていく里親ではないかなと思っています。つながりは宝。大人の手がこどもの宝を奪うことがない世の中が、すぐそこに見えています。



## 養子縁組里親体験談

### A と親子になって

#### 匿名里親

私たち夫婦は、40代半ばの時に民間から新生児とのご縁をいただき、現在こどもは小学生になっています。結婚が遅かったのもあって、3年間の不妊治療を経て特別養子縁組という選択をしました。当時は、共働きなので委託は難しいと児相に言われ（今はそうではありません）、あちこちの団体に問い合わせたりしました。いろいろな県の研修に参加しているうちに、同じような境遇の仲間に出会い、グループを作りました。今も仲良くしている養親仲間です。仲間内で情報交換をしている中で、その中の1組からある団体を紹介され説明会に出席しました。あちこちで厳しいことを言われてきた後でかなり緊張しましたが、親身になった優しい言葉にとっても気持ちがほぐれた記憶があります。

フライングかも、とは思いましたが、委託の話が来た時に仕事を休みやすくするために、上司だけでなく職場スタッフ全員に事情を話し、仕事の引継ぎを着々と進めました。環境調査の直後に「九州で今日生まれた子がいます。どうですか？」と話が来た時は、主人とは連絡が取れないタイミングでしたが、このチャンスに迷うと幸運が逃げていきそうに感じて、その場で即答しました。養親仲間からのアドバイスでリストも事前に作ってあったので、翌日の日曜日に子どもを迎える準備品の買い出しを1日で済ませました。結構な量になり車で2往復したのは今でも笑い話です。

迎えた委託の日、実母さんとも面会予定でしたので、とても緊張しました。病院のNICUで赤ん坊を抱いた時には本当に自然に涙が出てきてしまいました。実母さんとの面会は迷った部分もありましたが、Aを産んでくれた方に会える最後の機会かも、と思いお会いすることにしました。短時間と思っていたら、医師の説明や子どもの面会を含め2時間ほど一緒に過ごすことになり、戸惑いもしましたが、お会いしておいてよかったと思います。お迎えや手続きでしっかりとサポートしてくれた団体の担当スタッフの方々には、本当に感謝

の気持ちでいっぱいでした。

それから奮闘の日々が始まり、困ることも迷うこともたくさんありました。先に委託が決まった先輩が育児で忙しい中でのくれるアドバイスは役立つことが多く、委託前も委託後も非常に助けられました。子育てに困った時、気軽に相談できる人達がいるのは大事なことだと思います。養親間の子ども達は赤ちゃんの頃から知っているのも、その成長はもう我が子同然。成長を共に喜ぶ仲間でもあります。このつながりは子ども達が大人になっても大事にしていきたいと思っています。

地域のママ友も大事ですが、やはり相談できることとできないことがあります。真実告知もそうですし、実子でないことで心無いことを言われることもあると思います。実際に実子でない知らずに悪気なく、出産のときのことを聞かれたり、母乳育児を勧められたり、骨盤体操を勧められたこともありました。最初は気にしたこともあったけれど、いつしか笑ってスルーし、必要なことを言えるようになりました。全ての経験は無駄ではない、養子として迎えたAを守り育てていくための糧となってくれると思っています。

ご近所含め周囲がAが養子ということを知っているのも、周りから聞くよりは、と保育園で3歳児クラスにあがって少し落ち着いた頃に、Aに告知をおこないました。養子に関する絵本を身近に置き、時々読み聞かせ、下地を作ったうえで、「Aにはママが2人いるのよ」という形で話をしました。告知後にいろいろ質問してくる子もいると聞きますが、Aは何も聞いてこない子だったので、本当にわかってるのかこちらが不安になるくらいでした。ママから生まれたのではない、とは理解してたけど、Aが誰から生まれたかはなかなか理解しづらいようで、パパ？おばあちゃん？と聞いてきたことも。成長や理解度に合わせ、機会をみて何度も繰り返し話をし、小学生になって徐々に理解が進んだと感じています。成長につれて生意気なことも言うようにはなりましたが、時々「ママが好きすぎて…」とギューツとしてくる姿を見ると、ご縁があってAと親子になることができ良かったとつくづく感じます。これからも長い目でAの成長を見守っていきたいと思います。

## 里親会活動報告

### 夏の交流会報告

大津市 八木綾乃



昨年の8月、ダイヤモンド滋賀で行われた里親交流会に参加させていただきました。

一昨年はプールでのみの参加で、実子が「やっぱり泊まりにすればよかった…」と嘆いていたことから、今年は最後まで参加となりました。

プールにバーベキュー、花火、魚つかみと、夏ならではのイベントが盛り沢山。実子は夏休みの宿題の絵日記で何を描こうか迷うほどでした。

初めましての方も多く、まごついてしまうこともありましたが、時間を共にするうちに自然と打ち解けることができました。子どもたちも実子や里子など関係なく、ボール遊びをしたり、水遊びをしたりと前々から知り合いだったかのように馴染んでいました。

写真を見返すと笑顔が溢れており、とても楽しい時間を過ごすことができたように思います。

私も夫も滋賀の出身ではなく、何もわからない、知っている人が誰もいない状態で越してきました。今回の交流会を通して、滋賀県内のさまざまな地域の方と知り合えたこと、子どもたちに対する思いを知れたことは、今後も里親活動を続ける上で励みになりました。今年の夏もお会いできることを楽しみにしています。



### 里親知ってやフェス

守山地域里親会長 林 とも

11月29日(土)に東近江市アピアにて「里親知ってやフェス」が開催されました。

毎年恒例のフォーラムですが、昨年湖南支部担当の時に商業施設で実施してみて、人の集まることでの開催がいいねとの意見が多くありました。今年から里親支援センターとの共催となったことを機に名前も「フェス」に改めました。

舞台では、絵本の読み聞かせ、マジック披露、吹奏楽演奏などワクワクする出し物が次々と披露されました。射的や、ストラックアウト、可愛い工作コーナー、写真展示やほっこりできるカフェコーナーもあり、子どもも大人も一日中楽しみながら里親について知ってもらえるイベントとなりました。

会場をショッピングモールにしたことで不特定多数の方の足や目をとめてもらうことができ、大きな成果を感じました。里親啓発のパンフレットを配っていると『里親？犬？猫？』と尋ねられ、社会的養護や里親についての認知度がまだまだだと実感し、自分自身、精進していかないとなあと改めて思うきっかけになりました。

来年度は湖北での開催で、今から楽しみにしています。



## 各支部サロン報告

### 「湖西サロン」に参加して

大津市里親会 吉田ますみ

昨年11月1日(土)に開催された「湖西サロン」に参加しました。場所は一里山の木村里親さんが実家を改造して開設されている『子ども茶屋』(子どもの居場所)でした。

大きな暖簾をくぐって玄関に入ると、屋内にもかかわらず大きな遊び場が広がっていました。古民家の、太い柱や梁を利用してブランコやハンモックが長くぶら下がっています。忍者が登るような柱もあります。一つの部屋には立派な御仏壇もありましたが、子どもたちが自由に触っていいことにしておられるとのこと。奥の部屋の押し入れは、襖の代わりに木の格子戸がはまり、外からでも見える二階長屋を思わせる二段の部屋です。様々な工夫や安全に配慮された取り付け品等を見て、さぞかしこの「居場所」作りにはご苦労があったらうと思わずにいらませんでした。ところが木村さんによれば、旦那様は大工さんで、しかもこういうことをするのが大好きな方であるとか。納得です!

参加の子どもたちも殆どがここに来るのは初めてですが、変わった遊具を見ると早速自分で触り、試し遊びを始めます。子どもたちの興味心を引く遊具と環境の力だと思つづく思いました。遊びに興じる子どもたちも、近況報告に忙しい大人たちも、それぞれに時間の経過につれお腹が減ってきた頃がお昼時でした。

午後からは、八木里親ご夫妻の指導で、カップケーキのおやつ作りです。私はお昼のお弁当を少し残してしまいましたが、カップケーキはこっそりお代わりさせてもらいました(笑)。



お腹が満ちればゲームです。伝言ゲームやジェスチャーゲームに笑い、お楽しみビンゴゲームで景品をもらい、そのニコニコ顔のまま、最後に全員集合の写真撮影でした。

里親里子交流の場所提供として『子どもの居場所』に招いてくださった木村里親様、おやつ作りの指導をして下さった八木里親様、その他この日の企画をし、様々に担当役割を担って下さった皆様に深く感謝の一日でした。

### 湖南サロン「七色に光る!ハロウィンランタンを作ろう」に参加して

守山市地域里親会 片岡二美子



令和7年9月27日(土)、守山市のマザーボードさんで開催された湖南サロンに参加させていただきました。

その日は、湖南地区の里親さんと里子ちゃん、里親支援センターのスタッフの総勢13人が参加されました。粘土を使った可愛いオバケやかぼちゃ等のランタン作りに挑戦。皆さん、とても器用に素敵なランタンを作られていました。

作業後のお茶会では、仕事の話、家庭の話、子育ての話、里親関連の情報交換等たくさんのお話で盛り上がりました。他愛もない話でたくさん笑ってあっという間の2時間でした。

帰り道、私の心がポカポカになっていることに気がついて、思わず笑顔になっている自分がいました。もっとたくさんの里親さんに参加していただいて、私のように温かい気持ちになってもらえれば嬉しいなと思える湖南サロンでした。

### 湖南サロン「クリスマスパーティー」に参加して

草津市 田中麻衣

フェリエ南草津の会場では、少しずつクリスマ

スの雰囲気がつくられ会場全体に穏やかで温かい空気が流れました。

カード作りでは、マスキングテープやシールを使い、それぞれ思い思いに工夫しながら制作を進めました。子どもたちも集中して取り組み、完成したカードを嬉しそうに見せ合う姿が微笑ましかったです。

自己紹介に続き里親同士で近況を話したり、支援センターの方とも気軽に交流することができました。プレゼントをくじ引きの順に選んだり、里親も子どもも、ほっと一息つける機会の大切さを改めて実感しました。



## 湖北支部サロン報告

### 湖北支部長 岸田正嗣

第一回 8月30日米原市役所コンベンションホールで里親支援センター しが と滋賀県里親連合会の共催で行いました。参加者は子ども 10 人、大人が 15 人でした。内容は玄白（つねみち）先生のサイエンスマジックショーとモノづくりワークショップを行いました。玄白先生は長浜市で科学の楽しさを広め、地域文化として根付かせたいとの思いで 35 年間以上活動を続けている方です。先生が披露するマジックに子どもたちは興味津々、スライム風船作りに熱中し、科学のおもしろさを感じてもらうことができましたようです。

第二回 12月6日長浜市さざなみタウンで行いました。新築されたばかりの建物の中には図書館や音響室も併設されており、新鮮な空間でした。大人が 14 人、子どもたちは 10 人でした。中には久しぶりに顔を合わせる子どもたち、初めて会う子どもたちも多かったのですが、すぐに打ち解けて、元気いっぱい遊び始めました。タウンにはクリスマスらしい飾り付けが施されており、目を輝かせていろいろな場所を探検していました。



お鍋ができるまでの間、子どもたちはミニケーキ作りに挑戦。大人の方も含めてみんなで協力しながら楽しく作り上げる姿が印象的でした。お鍋は3種類、そのうち子ども用の鍋には麺やウィンナーなど、子どもたちが喜ぶ食材がたっぷり入っていました。食材の中でも、西野里親さん提供の余呉の畑で育てた白菜は、スーパーに並んでいるものより一回り大きく中身もぎっしり詰まった美味しい白菜でした。暖かいお鍋を囲みながら、参加者同士の会話も弾み、笑顔が絶えないひとときとなりました。

食事の前後には会場に併設された小さい部屋も活用し、思い思いに遊びを楽しみました。手作りのケーキやお鍋を囲む共同作業を通じて、子どもたちの絆が深まった一日となりました。お別れには、これも西野里親さんが育てたブロッコリーをみんなでいただいて帰りました。美味しかったことは言うまでもありません。

湖北サロンは里親家庭同士が気軽に交流できる貴重な場として、今後も継続的に開催される予定です。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

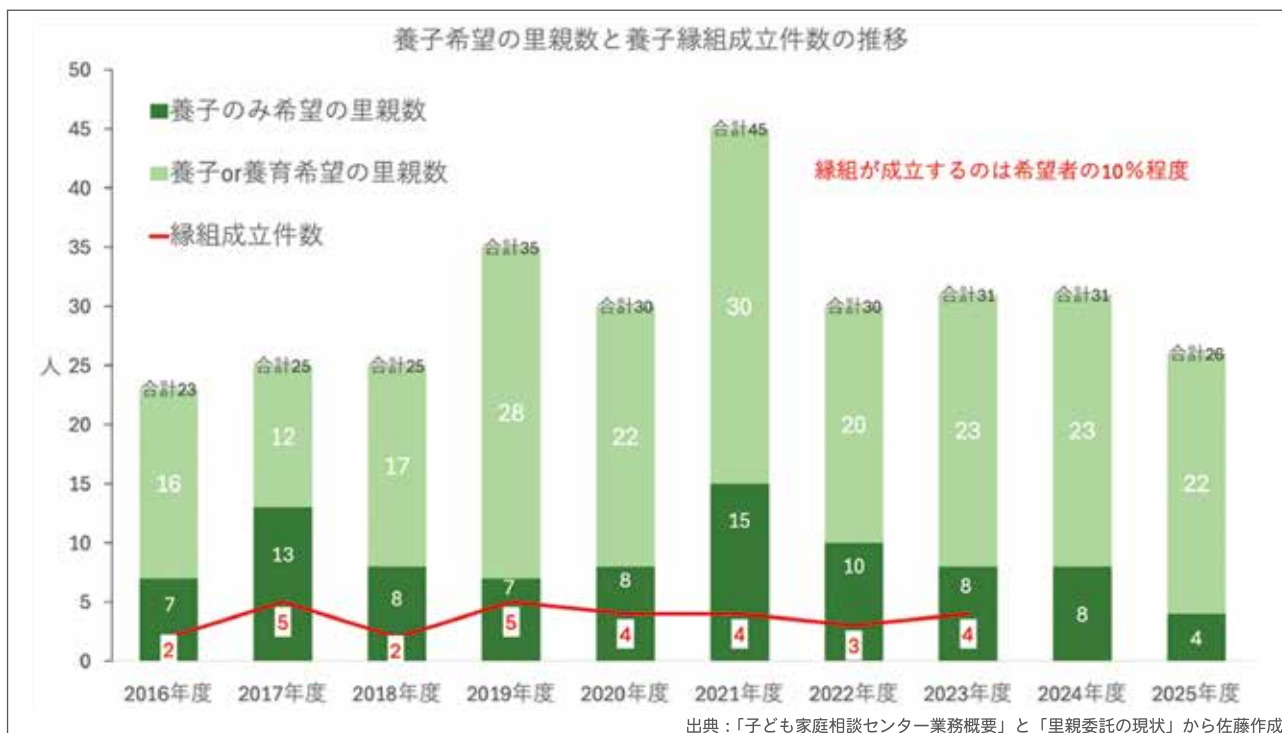


※湖北支部サロンは編集時点で終了していないため、後日 HP にてご報告させていただきます。

## 養子縁組をご希望の里親さんへ (民間養子あっせん機関を尋ねてみよう)

### 1. 滋賀県における養子縁組の成立状況

毎年 20 から 30 名の方が里親さんの新規認定を受けています。そのうち、多くの方が養子縁組を希望されています。しかしながら希望が叶うのは下のグラフに見られるように10組の里親さんに1件程度です。一方、右下のグラフのように、全国を見てみると滋賀県における養子縁組の成立率は 1.5% で比較的高いところにあります。一方で、3%という滋賀県の2倍の養子縁組成立率を実現している自治体もあります。



### 2. 養子縁組に進むために

このような状況の中で自らの希望を叶えるにはどうしたら良いでしょうか。

自ら養子縁組の道に進む方法として、民間の養子縁組斡旋機関があるということは研修時にも聞いています。

例を挙げると、毎日新聞には週一回「あなたの愛の手を」というタイトルで赤ちゃんの写真付きで養親候補者が募集されています。



これら斡旋機関について概要等を次に述べます。

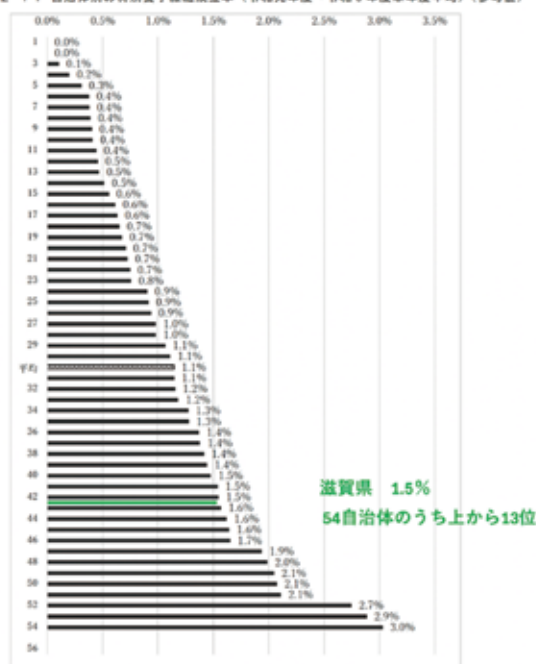
### 3. 民間養子縁組斡旋機関について

次ページ表のように現在国内に 23 あります。令和 4 年度には合計 180 件の縁組を成立させています。それぞれの縁組成立件数等は同表のようなものです。

滋賀県にはありませんが、近隣の府県にいくつもあります。

③ 自治体別の特別養子縁組成立率-1 (養子の人数/社会的養護を受けている子どもの数) (n=54)

図表 2-1-1 自治体別の特別養子縁組成立率(令和元年度～令和5年度単年度平均)(参考値)



※特別養子縁組成立率(令和元年度～令和5年度単年度平均)＝特別養子縁組成立件数の単年度平均 / (特別養子縁組成立件数の単年度平均+社会的養護のもとで暮らす子ども数\* (令和6年3月末))  
\*乳幼児・児童養護施設等の児童数 + 児童・ファミリーホームへの委託児童数の合計数  
出典：https://hibana.gyomu.jp/content/ajisabv2025/6e71特別養子縁組制度推進のための効果的な支援方法等の検討に関する調査研究報告書.pdf

ここで気にかかるのはその手数料でしょう。生みの親の出産にかかる費用や入院費を縁組希望者が負担しているからなのですが、機関によって補助金や寄付金等を受けたりしている結果、数万円から200万円超まで大きな差が生じています。希望者にとって負担が大きいものでもあります。

そのため、国は縁組成立者に対する手数料負担軽減事業として成立1件につき60万円の補助金を拠出しています。この60万円のうち、自治体が二分の一即ち30万円を負担することになっているのですが、**滋賀県ではこの30万円を予算化していないため、養子縁組成立者はこの負担軽減事業を受けることができない**というのが現状です。里親連合会ではこの補助金事業に予算をつけるよう数年前から要望を続けていますが、未だ認められていません。こういった現状を改善し、多くの子どもたちに家庭という永続的なパーマネンシーを与えるため、皆様のご意見を寄せてください。

#### 各民間養子縁組斡旋機関における縁組成立状況（こども家庭庁調査,R4年度）

斡旋機関	所在地	養親希望者 申込件数	特別養子縁組 成立件数	手数料の 平均額(千円)
森産科婦人科病院	北海道	3	0	—
Baby ぽけっと	茨城県	46	33	1,111
さめじまボンディングクリニック	埼玉県	12	4	650
ベビーブリッジ	千葉県	19	6	970
環の会	東京都	61	8	798
アクロスジャパン	東京都	5	7	786
日本国際社会事業団 (ISSJ)	東京都	31	2	1,020
フローレンス	東京都	113	8	2,063
ヘアホープ	東京都	101	26	1,511
子育てすこやかサークルつむぎ	奈良県	1	0	—
ストークサポート	和歌山県	143	43	1,277
田中病院	山口県	10	1	649
おきなわ子どもみらいポケット	沖縄県	37	2	780
札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル	北海道	0	2	780
生活クラブ風の村ベビースマイル	千葉市	6	6	1,205
まもりごと	大阪市	8	0	—
家庭養護促進協会大阪事務所	大阪市	58	17	11
家庭養護促進協会神戸事務所	神戸市	37	1	36
岡山県ベビー救済協会	岡山県	30	5	460
河野産婦人科クリニック	広島市	24	3	0
慈恵病院	熊本市	2	2	912
福田病院	熊本市	1	0	—
みぎわ	奈良市	3	4	234
合計		751	180	—

出典 : [https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/f33696fb-1ccf-416e-9eff-0724df1bab11/56cf1f58/20240708\\_policies\\_shakaiteki-yougo\\_tokubetsu-youshi-engumi\\_49.pdf](https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/f33696fb-1ccf-416e-9eff-0724df1bab11/56cf1f58/20240708_policies_shakaiteki-yougo_tokubetsu-youshi-engumi_49.pdf)

## 滋賀県子ども基本条例について

滋賀県子ども若者部 子ども若者政策・私学振興課長 川副 馨

一般社団法人滋賀県里親連合会会員の皆様には、本県の子ども政策の推進に際し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

滋賀県は平成 18 年に「滋賀県子ども条例」を制定し、子ども政策の推進に取り組んできました。その後、情報化の進展や社会構造の変化に伴い、子どもを取り巻く環境は大きく変わり、主体的に考え探究する生き生きとした子どもがいる一方で、虐待や貧困、インターネット上での権利侵害など、困難な状況にある子どもも顕在化しています。

令和 4 年 6 月に国で「こども基本法」が成立し、子ども政策への関心が高まる中、本県でも、子どもの権利や意見を尊重した「子どものために、子どもとともにつくる県政」の実現が必要だと考え、令和 7 年 3 月に「滋賀県子ども基本条例」を制定しました。

この条例は、子どもの権利が守られ、すべての子どもが心身ともに健やかに安心して成長できる社会の実現を目指しており、大きく 3 つのポイントがあります。

1 つ目は、基本理念で子どもの権利を明示していることです。児童の権利に関する条約の 4 原則を踏まえ、社会全体で子どもの権利が守られるための取組を推進することを規定しています。

2 つ目は、子どもの意見の尊重です。子どもの意見を聴き、尊重することを社会全体で推進することに加え、意見を聴く際の具体的な留意事項を定めています。

3 つ目は、子どもの権利侵害に関して個別救済を行う「滋賀県子どもの権利委員会」の設置です。相談窓口で解決に至らなかった事案について、委員が子どもの思いに寄り添いながら調査や調整を行い、問題解決を目指します。また、子どもの権利に関する出前講座や、子どもの声を踏まえた制度提案も行います。

子どもの権利が守られる社会をつくるには、県民一人ひとりの関心と理解が大切です。滋賀県のホームページでは、本条例を分かりやすく解説したパンフレットを掲載しており、子どもから大人まで幅広く活用できます。ぜひご覧ください。

今後も、子どもの権利が守られ、誰もが夢や希望を持てる社会づくりに向けて、一層の推進を図ってまいります。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

## 里親支援センターより

里親支援センターしがセンター長 猪飼久雄

「里親支援センターしが」は社会福祉法人小鳩会が運営し、令和 6 年 4 月に開設された里親養育を包括的に支援する児童福祉施設です。

里親制度を社会に広く理解していただき、里親を志す方々への研修や、里親委託を受けておられる里親家庭への訪問などを行い、子どもたちの健やかな成長を里親の皆様とともに見守っています。日々ご尽力いただいている里親の皆さまに深く感謝申し上げます。

センターが開設されて 2 年が経過しますが、まだまだ里親制度は一般の方々に十分理解されているとは言えません。様々な事情から実家庭で暮らせない子どもたちに、温かい家庭の中で安心して育ち、将来への夢や希望をもって自分の道を歩んでいけることを応援していただける里親家庭は、まだまだ十分な数ではありません。皆様のご理解とご協力により里親制度への関心が広まり、社会的養護の子どもたちの未来が明るくなることを願っています。今後ともよろしくお願いいたします。



## 滋賀県における里親制度の現状

滋賀県子ども若者部 子ども家庭支援課長 松田敏浩

一般社団法人滋賀県里親連合会会員の皆様におかれましては、日々、里親制度および社会的養育の推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成 28 年の児童福祉法の改正により、子どもが権利の主体であることが位置づけられるとともに、子どもが家庭において健やかに養育されるよう保護者を支援する「家庭養育優先」を原則とした上で、家庭における養育が困難、または適当でない場合は、里親やファミリーホームへの委託を進めることが明記されました。

こうした法の趣旨を踏まえ、国や各自治体において里親等委託の推進に向けた取組が進められ、全国における里親等委託率は、平成 25 年度末の 15.6%から令和 5 年度末には 25.1%に上昇しました。本県においても、貴会や令和 6 年 4 月に設置された里親支援センターしがをはじめ、市町、関係機関等と連携し、里親の新規開拓や里親登録後における継続的な支援等に取り組んできており、令和 6 年度末時点における里親等委託率は 34.4%と、全国平均と比較して高い水準となっています。

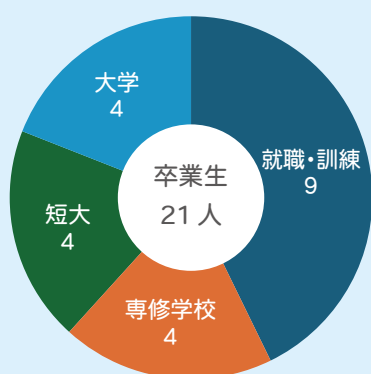
一方で、社会的養護を必要とする子どもやその家庭を巡る課題が複雑化・困難化する中、子どもたちの最善の利益を図るためには、最適なマッチングが実現できるよう、里親登録数をさらに増やしていくことが必要と考えています。昨年 11 月に貴会が主催された「里親知ってやフェス」では、里親としての実体験を交えて、里親活動の魅力を発信されたところ、里親として活動することに関心を持った方との貴重なご縁も生まれたと伺っており、里親の新規開拓のためにも皆様の活動に期待をしているところです。

また、現在登録されている里親の皆様には活躍し続けていただくことも重要と考えています。里親の皆様が安定した環境のもと子どもを養育できるよう、引き続き、関係機関とともにサポートしてまいります。子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりに向けて、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

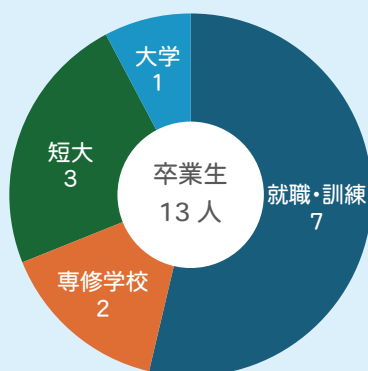
### 滋賀県の社会的養護の子どもたちの高校卒業後の進路状況について

(一社)滋賀県里親会会長 佐藤哲也

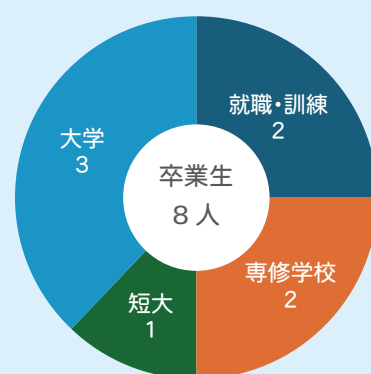
(R7 年 4 月 滋賀県社会的養護全体)



(R7 年 4 月 児童養護施設)



(R7 年 4 月 里親+FH)



昨年 4 月時点における高校卒業後の進路状況を上のグラフに示します。

こども家庭庁データによると一般家庭児童の進学率(全国平均)は大学+短大+専修学校で 77%です。

滋賀県の里親・ファミリーホームにおいては一般家庭児童と同様の進路状況です。

現在では、奨学金や生活支援制度が充実してきています。里親の皆さまにおかれましては、子どもたちが不利益を受けないよう早くから進路を意識し、指導、情報提供に努めましょう。

## (一社)滋賀県里親連合会 令和8年度行事計画

日時	事業名	場所
4/12(日)	第1回理事会	里親支援センター
6月中	第2回理事会 (総会準備)	里親支援センター
6/28(日)	近畿地区 里親研修会	大阪市内
7月中旬	令和8年度里親連合会 総会及び懇親会	南草津 フェリエ 他
7月から 翌年3月	各支部里親サロン (各2回)	各支部にて決定
10月中旬	前期里親認定式交流会	県庁
10/24(土) 10/25(日)	全国里親大会	KDDI 維新会館 (新山口駅前)
10/31(土) 11/1(日)	里親・里子交流会 (担当:湖西支部)	グリーンパーク 思い出の森
11/14(土) or15(日)	第8回 里親知ってやフェス	南彦根 VIVA CITY
11月中旬	里親だより編集委員会	里親支援センター
3/1(日)	しが里親だより No.97 発刊	送付先: 県内全域ほか
3月中旬	第3回理事会	里親支援センター
3月中旬	後期里親認定式交流会	県庁

※7月最終週または8月第1週の週末に「ダイヤモンド滋賀交流会」(助成金申請中)を実施予定

**編集後記** 記念すべき、里親だよりリニューアル第1号(第96号)をお届けします。読んでみて、いかがでしたでしょうか。以前までの里親だよりであれば、冒頭、寄稿文から始まるが多かったかと思われます。今号を製作するにあたっては、『里親だよりを誰のために作るのか。誰に向けて発信したいのか、あるいは誰の手に届けたいのか』を改めて考え直すことにしました。

また、里親だより編集委員会に若い編集スタッフが新しく加わり、編集会議では「表紙にイラストをつけよう」、「塗り絵的な要素があれば、子どもを持つ人が手に取りやすい」、「里親すごろくとか載せると面白いんじゃない?」等々の意見が出てきました。

中国の論語に、「子曰く、故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る、以って師と為るべし」という一節があります。

里親だよりも然り。これまで通り、いろいろな里親の実像が伝わる内容は載せよう。沢山の里親に協力してもらって書いてもらおう。里親に必要な情報もいっぱい載せよう。ただし、専門的になり過ぎないように…時間の兼ね合いもあって全てのアイデアを採用するには至りませんでした。先達が作り上げてきた里親だよりの本質を大切にしつつ、更に工夫を重ねて、誰もが手に取りやすく読み応えのある紙面づくりを心がけていきたいと思えます。

最後に。里親の醍醐味は、子どもの成長を間近で見守り、家族としての喜びや経験を分かち合えることにあります。里親家庭を通じて、里子が安心感や自己肯定感を取り戻し、健やかに育っていく姿は里親制度の素晴らしさを実感させてくれます。これから先も、里親制度の普及がより一層進むことを願ってやみません。  
(編集委員 藤原伸也)

## 親子でつくろう!

### 簡単 パウンド ケーキ



<材料> (16~18cm型2本分)

たまご…3個  
さとう…80g  
いちご…5~6個  
生クリーム…(お好みで)  
牛乳…60ml(大さじ4)  
ホットケーキミックス…1袋(180g)  
溶かしバター(サラダ油でもOK)…80g



ケーキの型は100均がお得!

※オーブンは180℃に温めておく

<作り方>

あわだてであるクリームで簡単♡



ボウルにたまご、さとう、牛乳、ホットケーキミックスを入れ、よく混ぜる



①に溶かしバター(サラダ油)を加えてよく混ぜ、生地を作る



パウンド型に生地を半分ずつ入れ、180℃のオーブンで30~40分間焼く



冷めたらデコレーション! 生クリームやいちごで可愛くデコっちゃお(型から出してからの方がやりやすいよ♡)



by  
お菓子作り大好きスタッフ  
みどり